

13番 吉岡 鳴人 議員

1 市政運営について

(1) 本市は地域経済発展や交流・関係人口の増加を図るため、様々な目的や手法を用い、シティプロモーションに取り組んでいる。

なかでも動画配信によるプロモーションは、地域の個性や魅力を伝える効果的な手段として有益と認識する。そこで、これまでの実施状況と効果測定及び評価並びに今後の目標や指標及び具体的な取組について示されたい。

(2) 子ども医療費無償化の目的は子どもの健康を守り、子育て世帯の経済的な負担を軽減するものである。そこで、本市の子ども医療費助成制度の助成内容や方法及びその対象者の範囲について示されたい。

また、本市出身の地域外子どもについては助成対象外であるが、今後対象範囲として捉える考えはないか。

2 教育行政について

(1) 文部科学省教育課程特例に基づく鹿屋市の英語教育について

① 本市は文部科学省教育課程特例に基づく鹿屋市の英語教育として、グローバル化に対応した人材の育成を図っている。しかしながら、鹿児島学習定着度調査によると、本市状況は過去5年間、県の平均に比べ学力低下が懸念されるが、この現状を踏まえどのように課題解決を図っていくのか示されたい。

② 学力向上につながるグローバル人材を育成するためには、英語を学ぶ機会や目的が日常生活に密接に関わっていることが重要と感じる。英語環境を整え改善に向けて、保護者、地域などが連携して取り組んでいく考えはないか。